



このたび富士河口湖町は、今後 10 年のまちづくりの指針となる「第2次総合計画」を策定しました。

わがまちは、世界文化遺産「富士山」の麓にあり4つの湖を有する風光明媚な景観と牧歌的な風景が広がる豊かな自然といった類まれなる自然環境を持ちながらも首都圏域に位置する地理的条件などに恵まれ、国際観光地として発展してきました。これも、先人たちの弛まぬ努力の賜物であります。

今を生きる私たちには、この恵まれた資源を守り、活かしていくことでさらに活力あふれ世界中の人々が訪れるまちを次代へ継承していく責任があります。

一方、次代を担う子ども・子育てを取り巻く環境は、少子高齢化、核家族化、地域社会の希薄化、女性の社会進出等により、大きく変化しています。これに対し、社会全体で子ども・子育てを支援する新しい仕組みの構築が必要とされ、次代を担う子どもたちの豊かな心を育むことこそ、未来志向のまちづくりの原動力と確信しています。

本計画において将来像を「ひとを優しくつなぐ 世界に誇る ふじのまち」とし、世界文化遺産「富士山」の魅力や価値を守り、地域の活性化につなげるとともに、一人ひとりの心でつながるまちづくりを進める構想といたしました。

この将来像の実現に向け、「ひと」をテーマに5つの基本的方向「ひとが暮らしやすいまち」、「ひとを育むまち」、「ひとに優しいまち」、「ひとが交わるまち」、「ひとの知恵と工夫でつなぐまち」を掲げ各種施策を展開します。

そして町民の皆様には、このまちのすばらしさを実感していただくとともに、誇りをもっていただけるようなまちにするため、町民の福祉の向上と信頼される行政運営に努め、すべての皆様が笑顔にあふれる将来に希望が持てる富士河口湖町の実現に向けてさらに努力してまいります。

一人ひとりが協働して参画いただくことで、未来につなげるまちづくりを一緒に進めていきましょう。

結びに、貴重なご意見やご提言をいただきました町民の皆様、総合計画審議会委員、町議会議員各位に厚く御礼申し上げますとともに、向後もなお一層の町政発展にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 3 月

富士河口湖町長 **渡辺 喜久男**